

ノ後ノ状況ヲノ通り

記

一 職工側ノ動靜

従業員ハ毎日出勤スルモ就業スルルノ望ム所ニ非ス
合シテ労働歌ヲ高唱シ氣勢ヲ擧ケ居ル。不徳ノ行動ナシ
従業員側ノ意向トシテハ會社ノ財政上ノ行狀リヲ察
知シ居ルシ以テ最後ノ要求事項中ノ三ヶ月ノ解雇手
當ハ之ヲ徹固スル意思アルモ未タ發表セズ

一 事業主側

會社ハ財政窮乏シ事業進展ニ困難シ居ル状態ナ
ルシ以テ讓歩ノ餘地ナシ。行方ニ委スル意向ナリ
一 交渉状況

九月二十六日午前九時ヨリ會社総接室ニ於テ會社側
ハ林、極川、増田ノ各重役職工側ヨリハ第九班長五郎又
一郎第十班長小川松五郎ノ兩名會見シ交渉シ高シタ
ルモ何等ノ進展ヲ見セリシヲ以テ一時交渉ヲ打切り
更ニ午後二時ヨリ交渉ヲ開始シ會社側ハ午前全一ノ
顔觸ニテ職工側ハ交渉委員植田忠一郎外ハ名出席シ
職工側ハ前田指示セル要求シ會社側ニ於テ絶対容ル
、餘地ナキモ若シ之ヲ容ル、誠意ナキ場合ハ吾々ハ
街頭ニ立ちテストライクヲ讀メテ吾々ノ要求貫徹ニ努力
スヘシ吾々ハ會社ノ存続ニ徹ニ吾々ノ立場ノアルコ
トハ充分理解シ持ツシ以テ誠意アル解決方法ヲ謀ル
コト度シト述ヘ會社側ハ之ニ對シ終末會社トシラズ